

血液製剤による

『C型肝炎救済のための 調査研究及び安全対策等に関する研究』 公開報告会

過去に、妊娠中や出産時の大量出血、手術での大量出血をした方の中には、特定の血液製剤の投与を受けたことにより、C型肝炎ウイルスに感染した方がいらっしゃいます。この特定の血液製剤の投与による感染被害者の方に対し、「C型肝炎特別措置法」に基づき給付金の支給がおこなわれています。給付金の支給を受けるには、平成30年1月15日までに国に対して訴訟の提起をすることが必要です。

このような状況の中、特別措置法の対象者を救済するための実態把握と、血液製剤の更なる安全性の向上に資する成果を得ることを目指した研究班が、平成27年度に組織されました。

昨年、1次調査として、C型肝炎に持続感染した方を対象に、①C型肝炎の感染経路の実態、②フィブリノゲン等の血液製剤でC型肝炎に感染した方の実態に関するアンケート調査を実施しました。

今回、2次調査として、当時の診療録（カルテ）またはそれに代わる書類を探すのに際してご利用いただける資料を作成するとともに、妊娠・出産時または新生児期に輸血・血液製剤の投与を受けた方を対象に実態調査を実施します。

当研究班ではこのような調査研究を遂行することにより、特別措置法の対象者を救済するための感染実態の把握を一層進め、また、血液製剤の更なる安全性の向上に資する成果を得ることを目指しています。

今回、これまでの成果やこれからの予定を広く皆様に知っていただくために、公開報告会を開催いたします。

日時 2016年11月19日（土） 18:00～20:00（開場 17:30）

会場 一橋大学 一橋講堂 東京都千代田区一ツ橋2-1-2 学術総合センター2階

定員 500名（参加費無料・申込み不要）

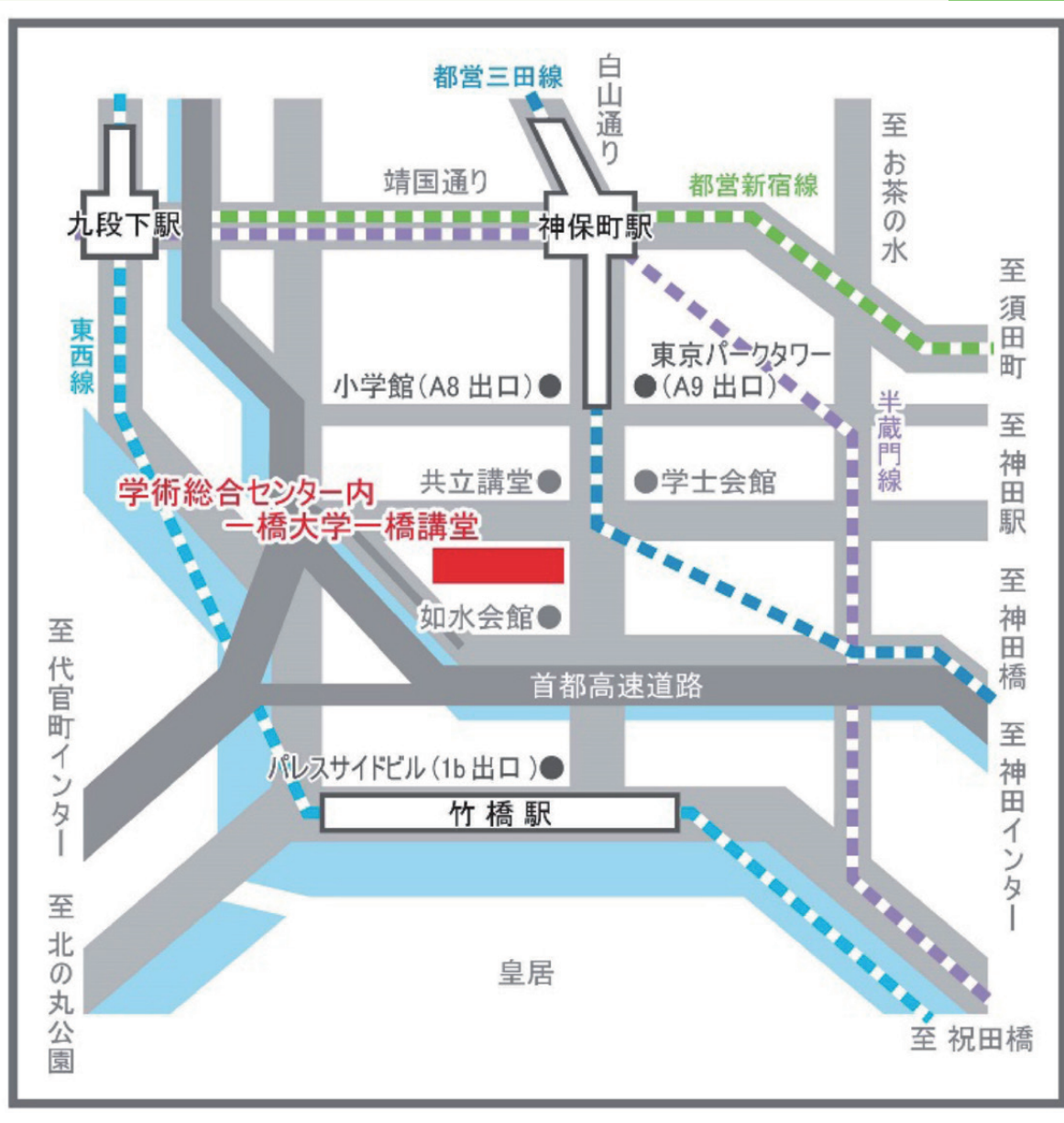
※入館には身分証明書またはこのチラシの提示が必要です。

～ プログラム ～

司会：正木 尚彦（国立国際医療研究センター）

18:00-18:05	開会挨拶	山口 照英（日本薬科大学）
18:05-18:15	C型肝炎患者の救済について	近藤 徹（厚生労働省血液対策課）
18:15-18:30	1次調査結果報告	八橋 弘（国立病院機構長崎医療センター）
18:30-18:55	2次調査の進め方について	八橋 弘（国立病院機構長崎医療センター）
18:55-19:15	血液製剤について	岡田 義昭（埼玉医科大学）
19:15-19:25	休憩	
19:25-19:55	質疑応答	
19:55-20:00	閉会挨拶	山口 照英（日本薬科大学）

一橋大学一橋講堂のご案内



【所在地】

〒101-8439 東京都千代田区一ツ橋2-1-2 学術総合センター2階

【アクセス】

- 東京メトロ半蔵門線、都営三田線、都営新宿線
神保町駅（A9出口）徒歩3分
- 東京メトロ東西線
竹橋駅（1b出口）徒歩4分

※お車でお越しの方は、近隣の有料駐車場をご利用ください。

【お問合せ先】

国立病院機構長崎医療センター 臨床研究センター

TEL : 0957-46-3003 受付 : 平日9時~15時

FAX : 0957-53-6675 MAIL : chosak@nagasaki-mc.com